

■東京支部活動の報告

① 長野ブロックのキックオフ 場所が決定しました。

東京支部エリアの柑芦会ネットワークの活性化策として、長野ブロックの発足と現地和歌山大学 OBOG との交流を深めるためのキックオフ会を開催いたします。

親睦を深めるためにも多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■キックオフ会

・開催日程:2020年3月14日(土) 開始 13:00～ 終了 17:00

※途中参加、途中退席OKです。

・開催場所: レストラン ル・ブラン <https://r.gnavi.co.jp/n162001/map/>

長野県松本市深志 3-10-5 ル・ブランビル 1F

※お申込みお問い合わせは、柑芦会東京支部事務局まで e-mail:tokyo@kourokai.com

◆柑芦会 本部ニュース

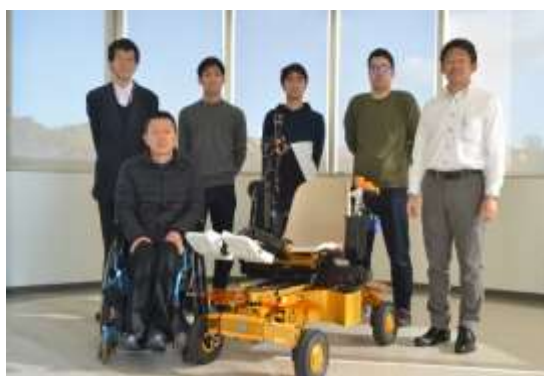
● Cyathlon2020 に出場を決意 只今訓練中!

5月にサイバスロンがスイスで開催されます。前回2016年10月の大会から4年が経ちました。あっという間の4年ですが、その間、機体の研究開発も一段高いレベルに達することができ、技術的難易度も上がる次回大会に出場することを決意しました。サイバスロンとは、障がい者が、自分の障害を技術を陽に用いて克服した上で、コース上のタスクをこなし競い合うという、次世代で求められる人と機械の融合を目指す競技会です。前回大会ではパワー車いす部門で世界4位となりました。その実績も評価され、今年5月には、サイバスロン車いすシリーズ日本2019を大会副委員長(和歌山大学が共催)として川崎にて誘致開催し、普及にも努めてきました。

次回サイバスロンでのパイロットは守田昌功氏(紀州車椅子サービス有限会社 代表取締役)です。12月から毎週2回程度の練習を続けています。優勝を目指して頑張りますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

<https://cyathlon.ethz.ch/>

和歌山大学 システム工学部 中嶋 秀朗



● ビジネスアイデア学生コンテストで和太優勝!

1月13日(月)に実施された、ビジネスアイデア学生コンテスト(主催:近畿経済産業局 後援:大阪商工会議所、毎日新聞社)で近畿経済産業局長賞(優勝)に輝きました。

「開放特許等を活用したビジネスアイデア学生コンテスト」とは・・・

開放特許等を活用した事業アイデアの企画立案に関するコンテストを通じて、参加学生に課題解決型機会を設け、実践的思考と能動的な取り組み態度を涵養すると共に、産学連携の一形態として地域経済界における事業創造活動の活性化に貢献することを目的として開催されました。

大会名 開放特許等を活用したビジネスアイデア学生コンテスト

主催 近畿経済産業局 後援 大阪商工会議所、毎日新聞社 協力 大阪工業大学、関西みらい銀行

詳しくはこちら https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/contest/idea_contest2019.html

■近畿経済産業局長賞(優勝)(関西みらい銀行賞、同時受賞)

プラン名 mind ten(広告付き傘の無料貸し出しサービス)

チーム名 K&T 学生 江口慶、川上泰生(両名ともシステム工学部2年生)

■審査委員特別賞

プラン名 ふれずに Friend~ココロが見えるエンタメサービス

チーム名 ペトラーズ 学生 軍地 優樹、田浦 佑海、宮本 拓海、山原 諒真、吉田 勇大。

● 1/25(土) 神戸支部新年会 開催されました。

神戸支部では1月25日(土)に三宮の生田神社会館で新年会を開催しました。

高商18期卒の大先輩から大学44期卒までの幅広い年齢層の会員に加え、マグレビ経済学部長夫妻(夫妻は和大大学院卒であり、昨年神戸支部会員になられています)、阿部経済学部准教授、ソフトテニス部所属の現役学生4名、更には、来日中のニュージーランド国立ワイカト大学のホームズ教授(NZ国の経済学会長)にもご参加頂き、総勢49名の多士済々の新年会となりました。

今年の新年会の出し物は、ソフトテニス部現役学生さんの今年の抱負ご披露、落語家桂紋四郎師匠の新春初笑い落語、恒例の和太鼓集団ホッと太鼓(団長:大学20期卒辻さん)の演奏でありました。

懇親会では、高商18期卒の田畑脩三様に乾杯のご発声を頂き、それぞれ同年代の方々にお集まり頂いた6つの円卓では、食事をしながら学生時代の思い出話や近況報告等に花が咲き時間の立つのも忘れ大いに盛り上がりました。そして、歓談の興奮冷めやらぬ午後2時半過ぎ、大学1期卒の柳瀬繁次郎様の中締めのご挨拶で名残惜しくも新年会はお開きとなりました。

● 福井支部の活動報告

柑芦会本部及び各支部の皆様におかれましては、ご健勝にて令和2年の初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃は福井支部に対しましてご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、共通課題である支部の活性化につきましては、福井支部でも論議を深めているところです。3年前からは、教育学部の同窓会である紀学同窓会福井支部に働きかけ、合同による懇親会を開催しています。

しかしながら、その後も総会の出席率は芳しくない状態となっています。まずは一人でも多く、会への参加を促すことが肝要と考え、年1回の総会・懇親会のあり方について検討し、開催時期や曜日、会場、会費(負担金)等の見直しを行いました。少しでも参加率が上がることを期待いたしましたが、残念ながら結果的には成果は表れませんでした。特に今回は、常連の方数名が所用により欠席となったため、6名の参加にとどまりました(令和元年11月8日実施)。少人数ではありましたが、各自の近況報告や大学時代の思い出話に花が咲き、楽しいひとときとなりました。また、会の活性化に向けては、全会員へのアンケート調査の実施や、支部主催で大学訪問などを計画することとなりました。私たちにとって、和歌山大学での学生生活の思い出は、今でもかけがえのない心の礎となっています。和歌山大学のさらなる発展と関係各位のご活躍を心から祈念いたしまして、活動報告とさせていただきます。

2020年1月21日 福井支部 支部長 江波庄進

◆和歌山大学 ニュース

① 和起大業家 OGOb Meet UP 開催のご案内

卒業生からも起業者、個人事業主が増加中。大学創立 70 周年をきっかけに、みんなで「仕事をつくる・つなげる・たすけるコミュニティ」をつくる MeetUp を開催します。(起業を目指す在学生も参加予定です。)

日時:2020/2/15 START 17:00~20:00

場所:ブラッスリー モノクローム 天王寺ミオ店(MIO 駐車場ビル 2F)(東京行き最終新幹線 21:23)

MeetUp 参加条件など詳しくはこちら <http://www.wakayama-u.ac.jp/cijr/news/2019121800039/>

② 2019 年度 LIP 合同活動報告会

観光学部では、和歌山県内及び大阪南部の市町村などの協力のもと、地域が抱える課題を地域住民とともに発見し、その解決方法を考える「地域インターンシッププログラム」(通称:LIP)を実施しています。本プログラムは、地域活性化に関心をもつ学生が、現地に足を運び、地域住民と連携することによって、地域の課題に取り組むものです。今年度は地域からの提案を受け、14 プログラムが実施されました。

この度、一年間の取り組みを広く共有するため、また、学生が活動を振り返り自身の学びと今後の活動のブラッシュアップを図るために、「LIP 合同活動報告会」を下記の通り開催いたします。

本報告会は、各プログラムのリーダーを務める学生が中心となり企画・運営をしています。各プログラム 10 分間の活動報告とコメントシートによる意見徴収、そのコメントシートに対するリプライを行うことで、来場者との双方向型の報告会を目指します。

報告会終了後には、自由な意見交換の場として「交流会」を開催し、報告を受けての今後の活動の発展やネットワーキングを行います。

報告会と交流会は、本学学生・教員、LIP を実施している地域の担当者のみならず、一般の方々のご来場も歓迎しております。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

開催日時: 2020 年 2 月 8 日(土)13 時 00 分~17 時 30 分 ※12 時 30 分受付開始

開催会場: 和歌山大学 西 2 号館 E-101 教室 西 4 号館 T-101 教室・多目的スペース

主 催 : 和歌山大学観光学部

※詳しくはこちら <http://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/news/2020012800113/>

③ 2/9 放送 「所さんの目がテン」に、教育学部山本奈美教授が出演。

教育学部の山本奈美教授、食農総合研究所の三谷隆彦客員教授の山椒に関する研究が、読売テレビ「所さんの目がテン！」にて紹介されます。放送は 2/9(日)午前 9 時 55 分からです。是非ご覧ください。

放送情報 番組名 読売テレビ「所さんの目がテン！」

放送日 2020 年 2 月 9 日(日)午前 9 時 55 分(30 分)

④ 和歌山大学クラウドファンディング始動！

本学システム工学部 中嶋 秀朗 教授を中心に研究を進めてきた「サイバスロンプロジェクト」ですが、この度本学初の「クラウドファンディング」による寄附の募集を実施することとなりました。

詳細はこちら <https://www.wakayama-u.ac.jp/crowd/>

※インターネットを通じたご寄附・ご協力をご不安な方は下記までご連絡ください。

別途方法等ご提案させていただきます。

和歌山大学産学連携イノベーション・センター Tel:073-457-7584(小門 / 森中)

Mail:wu-crowd@ml.wakayama-u.ac.jp

今月の表紙

植木市



柑
蘆
同
人
誌

第672号
2020.2

令和2年2月2日 柑芦同人誌 芦 火 第672号

清記を終えて 2

672号

○純一さんの散歩道の自然、今月は雨天と銀杏、南天の赤が眩しい。縁起もので植木市でもよく見かける。我が家の南天はまだ実を結ばない。銀杏の黄葉はあちこちで見事に彩りを添える。実は好物で毎日食べるので秋の銀杏拾いが大変である。臭いので取り出しにも苦労するが健康に良いと進められて今日に至る。

○1月6日が寒の入り、立春まで寒さが続くのが例年である。北は荒れているが、総じて温暖のようである。高齢の身には有り難いが、雪国、スキー場は困っているようだ。何事も普通が良い。びびりした。ゴーン被告の国外逃亡、サスペンスを見ているような気分になる。日本の司法制度は批判を受けるし、日産も評価が上がらない。国際的な問題を解決するのは難しい。

○中東は相変わらず臭い、日産も評価が上がらない。国際的な問題を解決するのは難しい。日本は米国にもイランにも親しい中で、我が国のエネルギーの8割以上を中東に依存している。どにかく戦争にはなつて欲しくない。平和を呼び掛けながら、自衛隊を調査に出さざるをえない。自分の国を自分で守れない国は世界では評価されない。一国平和主義では済まされない世界では生きていくのは容易ではない。日本の指導者はやはり国際的に信用されないと日本の国益が損なわれる時代となっている。

○阪神淡路大震災から25年目となる。災害は忘れたころではなく、何時来るか判らない時代となった。公共に期待するのは災害が一段落してからである。自助、それぞれが準備怠りなく一年を過ごすことが肝要となっている。

◎ 本号高得点者

- 30点 としを 25点 恵吾 16点 史浩 安男 14点 温州
- 12点 草炎、かぞう 10点 善富 碧亥 8点 勝 7点 純一、穂心

◎ 本号高得点句

- 9点 懐手老いても子には従はず 恵吾
- 8点 ひとり可多きこの頃着ふくれて としを
- 7点 冬木立実る梢に風の音 恵吾
- 6点 日当たりて影重ね合ふ枯木立 としを
- 6点 煤松巫女神官を指図して 安男
- 6点 ゆずりあい会釈かわして冬小道 かぞう
- 6点 京しくれこはせ作りの四代目 史浩
- 6点 栗飯に足るだけの栗拾ひけり としを
- 5点 ネル蕨しのモカのドリツプ冬めくし 史浩

惜しい！4点句 多武峯||薄富、 柁助や||温州、 水鳥や||純一、 亡き人||碧亥
マスクして||安男、 小春日の||草炎、 思白き||恵吾、 会話無き||としを

次号を志匠「二切捨て御免」担当 一 としを

次号兼題 植木市・苗木市 植木を売る市。季節としては植樹の好機の春のもの。植木とは古い時代には枯木に対する生えている木であったが、今は觀賞用の植木の意。この頃は春の芽生えが盛んで柿・桃・梅などの果樹や沈丁花・躑躅などの苗木が立つ。熊本では一か月以上開催され九州各地から春を待つ人が押し寄せる。屋台、出店も多い。

・植木市当て字ばかりの名札付く、右城墓石 ・算盤で値引きかけ合ふ植木市 河野真
・植木市素通りさせぬ女あり 鈴木光彦 ・校庭に降って湧きしや苗木市 鷹羽狩行
・植木市熊本言葉荒荒し 高野素十 ・すぐ通り抜けてしまひし苗木市 堀川辰舟

創刊、昭和38年、600号以上を発行。会員約20名が毎月投句、選句。上手下手を問わず俳句を楽しんでいます。紙と鉛筆と歳時記で、花鳥風月を楽しんでみてはいかがですか？

発行人： 山下勝様 経済学部 14期 yama723@nifty.com

「芦火」連絡先：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-7-2-301 TEL :096-382-4767

～ わかやま関連 Information ～

① 東京セミナー情報 「空港型地方創生に挑む」南紀白浜エアポート代表

和歌山に縁ある人々が集う紀友会が開催する、2月の例会は、2019年4月1日に民営化した南紀白浜空港が、空港を核とした地域活性化のモデルとなるべく岡田代表を中心に動き始めている中、今後の戦略や想いを語って頂くスペシャル企画です。皆様お誘い合わせの上、多数ご来場下さるようお待ち申し上げます。

【南紀白浜空港】

南紀白浜空港は1968年(昭和43)、滑走路1本で開港した。県南部に位置する県内唯一の空港で、2018年の旅客数は約16万人。毎年3億円を超える赤字があり、その現状を打開し発展させようと2019年4月から民営化に踏み切った。県から運営を引き継いだのが、経営共創基盤(東京都千代田区)が出資する空港運営会社「南紀白浜エアポート」です。

【講演者】岡田 信一郎氏(南紀白浜エアポート 代表取締役社長)

・日時:2020年2月7日(金)18時30分～(18時00分開場)

・場所:C-WORK <https://cwork-cck.jp/access/> 東京都千代田区麹町2-2-4 麹町セントラルビル 4F

▼申込み方法 <http://kiyukai.com/meeting/2020-2>

ページの最後の「例会参加申込みフォーム」から 必要事項を入力して送信してください。

※備考欄に、和歌山に縁のある場所や行ってみたい所等をご記入下さると幸いです。

②「古代歴史文化賞」記念シンポジウムを開催！(よみうりホール)

古代歴史文化にゆかりの深い島根県、奈良県、三重県、和歌山県、宮崎県の5県により共同で実施する賞で、古代歴史文化に関する書籍を表彰することを通じ、国民の歴史文化への関心を高めることを目的としています。古代に関して執筆され、学術的基盤に基づき、分かりやすくおもしろい書籍を表彰しています。この度、第7回受賞作品の決定を記念し、シンポジウムを開催します。

○日 時 令和2年2月8日(土)13:00～17:15(予定)(12:00開場)

○会 場 よみうりホール(千代田区有楽町1-11-1 読売会館7階)

○参加費 無料、要事前申込(抽選/定員1,100名)

《基調講演》テーマ:「古今和歌集」の創造力～万葉から古今へ～

講演者:第7回古代歴史文化賞大賞受賞者 鈴木宏子氏(千葉大学教育学部教授)

《アトラクション 記紀・万葉トークライブ》 古館伊知郎氏

※詳しくはこちら <https://www.sap-co.jp/events/kodarekishi2019/>

③ 紀南フィルムが写真展「ローカルの日常 景色・人・暮らし」開催

熊野灘捕鯨文化継承協議会(会長:商工観光労働部長 稲本 英介)は、日本遺産「鯨とともに生きる」の対象エリア(新宮市・那智勝浦町・太地町・串本町)の情報発信を行うため、昨年度、地域の方を対象としたフォトライター養成講座を実施しました。今般、この養成講座を契機に結成された「紀南フィルム」が、東京の“72gallery”で写真展を開催します。

日時:令和2年2月6日(木)～15日(土) 12:00～19:00(最終日は17:00まで) 休館日:月曜日、火曜日

場所:72gallery(東京都中央区京橋3-6-6 エクスアートビル 1F)

※詳しくはこちら <https://www.wakayama-kanko.or.jp/information/2020/01/22/6703/>

文・編 47期 中川貴照

柑芦会東京支部フェイスブック <https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会東京支部

柑芦会専用電話:03-3366-3680 平日 9:00～18:00 土曜日:9:00～15:00

共用 FAX:03-3369-3469 柑芦会東京支部宛と記載下さい。 e-mail: tokyo@kourokai.com